

講義コード	11C0128804	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	苑 志佳	開講期	通年
科目名	ゼミナールⅡ(苑)					苑 志佳		通年	
履修前提条件						備考			
授業の目的	苑ゼミⅡは、中国経済を中心に研究する。具体的には、数冊の著書を教材とし、中国経済の現状と行方、現在の中国経済の諸問題点に焦点を合わせて勉強する。ゼミ諸君には、ゼミⅠの時に身に着けたテクニックを活用し、活発な討論を行ってもらう。また、レベルの高いプレゼンテーションと問題提起が期待される。ゼミ運営は、従来通りにゼミ生を中心として行われるが、教員は側面からサポートする。								
到達目標	本ゼミを通じ学生は、中国経済全般に関する知識をマスターすることができる。推薦図書を輪読することによって中国経済発展のメカニズムおよび世界経済との関係などをより深く理解することができる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	①この科目では、120時間以上の授業外学修を行うこと。 ②毎週の授業終了後に参考文献や予習資料などを指定するので、これを予習する。 ③授業時に配布される教材や資料を復習し、次回の授業時に問題提起を考える。 ④授業の予定テーマに関連する資料を自ら収集し、これを持って授業討論に臨む。								
授業計画	【第1回】 イントロダクション 【第2回】 経済システムとしての国家資本主義 【第3回】 「国進民退」は起きているか 【第4回】 「国進民退」をもたらした制度の矛盾 【第5回】 国有企業、民間企業と政府 【第6回】 グローバル化の進展と国有企業 【第7回】 国家資本主義の国際展開 【第8回】 国家資本主義はどこへ向かうか 【第9回】 経済成長の過去と将来 【第10回】 計画経済と市場経済 【第11回】 労働市場 【第12回】 財政と金融 【第13回】 技術 【第14回】 市場経済のなかの国有企業 【第15回】 外資系企業と対外開発政策 【第16回】 後期イントロダクション 【第17回】 20世紀前半の中国経済 【第18回】 社会主義の模索と市場移行 【第19回】 農村社会経済の変容 【第20回】 企業体制の再構築 【第21回】 地域開発政策の展開と産業・人口の集積 【第22回】 財政制度改革と中央・地方関係 【第23回】 金融の制度と運営 【第24回】 貧困、失業と所得格差 【第25回】 人口と社会保障 【第26回】 エネルギー問題 【第27回】 経済発展と多様化する環境問題 【第28回】 対外貿易と直接投資 【第29回】 香港・台湾の経済と中国との関係 【第30回】 最大の発展途上国の経済外交								
成績評価の方法	1. 平常点50% 2. プレゼン30% 3. 討論参加20%								
フィードバックの内容									
教科書	『21世紀の中国経済篇－国家資本主義の光と影』加藤弘之・渡辺真理子・大橋英夫（朝日新聞出版）2013年、『現代中国経済』丸川知雄（有斐閣アルマ）2013年、『中国経済論』加藤弘之・上原一慶（ミネルヴァ書房）2011年								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	上記の教科書は、必ず使用するものなので、事前に入手し予習して下さい。また、自分が興味を持つ章があれば、メール等で事前に教員へ連絡すれば、事前に手配する用意がある。								
オフィスアワー	月曜日3限								
その他									